



綿棒の認定基準及び基準確認方法

(公開用)

製品安全協会

母子用品専門部会 専門委員名簿

	氏名	所属
(部会長)	平山 宗宏	東京大学
	浅谷 矩之	日本チェーンストア協会
	伊藤 康江	消費科学連合会
	内田 禎夫	通商産業省産業政策局 経済課
	江井 晃	社団法人母子用品指導協会
	黒川 耀雄	平和エーザイ株式会社
	小西 康夫	川本繻帯材料株式会社
	鈴木玄八郎	通商産業省生活産業局 日用品課
	鈴木 誠	白十字株式会社
	須田 浩行	財団法人日本食品分析センター
	知久 篤	日本大学
	内藤 寿七郎	愛育病院
	永岡 稔	日本百貨店協会
	中村 剛士	日本綿棒株式会社
	福島 剛	ジヨソク・イント`・シヨソク・ファーストコーポレイト
	古川 奈美子	主婦連合会
	宮原 恵子	全国地域婦人団体連絡協会
渡辺 伊平	財団法人日本消費者協会	
下河辺 孝	製品安全協会	
(事務局)	製品安全協会	〒106 東京都港区六本木 3 丁目 17 番 7 号 電話(03) 582-6231~5

綿棒の認定基準及び基準確認方法

1. 基準の目的

この基準は、綿棒の安全性品質及び一般消費者が誤った使用をしないための必要事項を定め、綿棒による一般消費者の生命又は身体に対する被害の発生を防止を図ることを目的とする。

2. 適用範囲

この基準は、般家庭で使用する綿棒(以下、綿棒という)について適用する。ただし、綿体を着脱できる形式の綿棒は除く。

3. 安全性品質

綿棒の安全性品質は、次のとおりとする。

項目	基準	基準確認方法
1. 外観及び寸法	<p>1. 綿棒の外観及び寸法は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 汚れ、異物等の付着、混入等がないこと。</p> <p>(2) 綿体は、着色されていないこと。</p> <p>(3) 軸の仕上がりは良好で、先鋭部、はり等がないこと。</p> <p>(4) 綿体の使用部分から軸の先端が露出していないこと。</p> <p>(5) 綿体に覆われない軸部分の長さが、○以上あること。また、全長は綿体が片側だけにあるものにあつては○以上、綿体が両側にあるものにあつては○以上あること</p>	

項 目	基 準	基準確認方法
2. 綿体の接着強度	2. 綿体と軸との接着は、使用上十分な強度を有すること。なお、接着剤には有害なものを含まないこと。	
3. 軸の強度	3. 軸は、使用上十分な強度を有すること。	

項 目	基 準	
4. けい光反応	4. 綿体部分にはけい光反応が認められないこと。	
5. ホルムアルデヒド	5. 綿体部分には、ホルムアルデヒドが検出されないこと。	
6. 着色料	6. 軸の着色料は、溶出してはならないこと。	
7. 一般生菌数	7. 一般生菌数は、1本当たり〇以下であること。	

4. 表示及び取扱説明書

綿棒の表示及び取扱説明書は次のとおりとする。

項 目	基 準	基準確認方法
1. 表示	1. 包装には、容易に消えない方法で次の事項を表示すること。 (1) 申請者（製造業者、輸入業者等）の名称またはその略号 (2) 製造年戸若しくは輸入年月又はその略号	
2. 取扱説明書	2. 製品には、次に示す主旨の取扱い上の注意事項を明示した取扱説明書を添付すること。 (1) 主な用途 (2) 使用上の注意 (a) 手を清潔にしてから使用すること。 綿体に手を触れないようにして使用し、特に乳幼児に用いるときは、片側の綿体だけを使うことが望ましいこと。 (b) 綿体に手を触れないようにして使用し、特に乳幼児に用いるときは片側の綿体だけを使うことが望ましいこと。 (3) 保管上の注意 (a) 湿気のある場所に保管しないこと (b) 開封後は速やかに封をしておくこと。	